

登録コード	A3590316	開講年度	2026				
授業科目	科学英語					担当教員	三谷 壘一
英文授業名	Scientific English						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加わℎ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					英語の科学論文を読むことで、結果だけでなく、著者らの主張を理解することができる。	
	【2022年度以前加わℎ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					英語の科学論文を読むことで、専門分野の背景と現状を理解し、何が問題となっており、その問題をどのように解決するのかを考察することができる。	
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加わℎ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確な情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					英語の科学論文を読むことで、結果だけでなく、著者らの主張を理解することができる。	
	【2024年度以前加わℎ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					英語の科学論文を読むことで、専門分野の背景と現状を理解し、何が問題となっており、その問題をどのように解決するのかを考察することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	英語学術論文を読解し，その内容を日本語と英語を交えたプレゼンテーション形式で説明する。						
(5)授業計画	英文読解とプレゼンテーション 1．学術データベースを用いた英語論文の検索（目標の設定） 2．検索でリストアップされた候補論文の絞り込み（英文の速読） 3．電子ジャーナルの活用 4．選択した論文の全訳（英文の熟読） 5．論文内容の理解 （文章の論理構成の理解，引用文献の読解） 6．論文内容の理解 （文章の論理構成の理解，引用文献の読解） 7．プレゼンテーション資料の作成（英文読解により得られた知識の活用） 8．論文内容のプレゼンテーションと議論（到達度の確認） 授業の最終回に授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	自主学習は必要不可欠です。英語の科学論文を日頃から読む習慣を付けて前向きに取り組んでください。						
(7)成績評価の基準	主な評価基準は授業計画7.で行うプレゼンテーションです。 発表した自分の研究計画を理解できているか、 他人が見た時のスライドの見やすさ、 質問に対して正確に対応できているか、の3点について総合的に評価します。目安としては、上記の授業の達成目標について、標準的達成レベルにあれば80点、理想的達成レベルにあれば100点とします。						
(8)事前事後学習の内容	英語論文を熟読して内容を理解すること。プレゼンテーションに関する専門書を使って事前に学習すること。						
(9)テストやレポートの予定	必要に応じてテストやレポートを求めます。						
(10)成績評価の方法	授業計画に挙げた内容に対する取り組みの成果を総合的に判断して評価する。 評価基準は以下の通り。 秀：90点以上（授業の達成目標の水準からみて卓越している） 優：80～89点（授業の達成目標の水準よりかなり上にある） 良：70～79点（授業の達成目標の水準よりやや上にある） 可：60～69点（授業の達成目標の水準にある） 不可（D）：50～59点（授業の達成目標の水準よりやや下にある） 不可（E）：49点以下（授業の達成目標の水準よりかなり下にある）						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時、質問等に応じる。						
(12)履修上の注意	1．対象学生：生命機能科学コース3年生。研究室配属後の履修になります。開講形式は研究室ごとに異なるので注意してください。						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						